

洞爺湖は特別な場所です



profile

1987年12月19日生まれ。自然を愛し、休みの日は山菜採りや洞爺湖中島へ行き、ウォーキングを楽しんでいる。好きな日本食はすき焼きで、一期一会という言葉が気に入っている。洞爺第6在住。30歳。

Spotlight

スポットライト



一般社団法人 洞爺湖温泉観光協会

フィリップ・シャーボノーさん

「28」都道府県いろいろな場所をヒッチハイクで旅しましたが、洞爺湖は、他と比べようがない、全く別次元の素晴らしい場所です」
洞爺湖の魅力に熱く語るのには、197^{センチ}の大きな体躯からやさしい笑顔がこぼれるフィリップ・シャーボノーさん。

カナダのオタワ出身で、4月から洞爺湖温泉観光協会に勤めています。洞爺湖温泉を訪れる外国人観光客への対応やSNSを通じた外国人向けの情報発信をはじめ、流ちょうな日本語を駆使して日本人観光客への案内も行います。小さい時に大友克洋のアニメ「AKIRA」を見たのをきっかけに、日本への憧れを強め、「いつかは日本に行ってみたい」という密かに抱いていた夢を実現し、ワーキングホリデービザを使って3年前に日本を訪れました。

来日してからは、沖縄から北海道まで、国内をヒッチハイクで旅行し、行く先々でさまざまな人とふれ合い、日本の素晴らしさ、日本人の優しさを再確認してきました。旅の途中で立ち寄った洞爺湖では、何とも言われぬ神々しさを感じて、2週間も滞在。イベントを手伝い、住民と触れ合う中で忘れられないものとなりました。

青森県弘前市で英会話教室に講師として勤めていたときも、毎月のように来町するほど「洞爺湖は特別な場所、初めて来たのに何故か懐かしい雰囲気がある」と不思議な魅力にはまりました。

湖畔を散歩し、読書をする現在の暮らしぶりに幸せを感じながら、「もっと日本語に磨きをかけて翻訳の能力をアップし、その道で生きていきたい」と力強く将来を語ります。

さらに母国で環境関係の仕事をしていたこともあり、「洞爺湖町でも子どもたちと一緒に環境教育についても取り組んでいきたい」と関心分野は、ますます広がっています。

東奔西走

今月は初めてのビックイベント洞爺湖マラソン取材し、規模の大きさに圧倒されました。イベントはたくさんの人と話す機会があるので、出会いを大切にしていきたいです。(C.K)
スポットライトで取材したフィリップさん。カナダ出身と思えないくらいスムーズな日本語で、洞爺湖は素晴らしい場所だと熱弁してくれました。洞爺湖の大自然は心がきれいになる感じがして私も大好きです。(H.S)

今月のワンショット



花壇整備に汗を流す子どもたち
～MOVE洞爺湖 2018～



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary

